

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年9月8日 No.74

2010年NPT再検討会議へ「核兵器のない世界を」署名の飛躍を 大会後最初の6・9行動全国で

【広島】 6・9行動前に原爆碑前で開始式 新署名1時間で400筆以上

広島県原水協と同県被団協は6日、「核兵器のない世界を」をスタートする開始式を広島市中区の前原爆碑前で開きました。参加した25人が黙とうした後、大森正信筆頭代表理事は「アメリカ・ブッシュ政権の核戦略などの逆流に対して、署名をうず高く積み上げ、核兵器廃絶の世論を示そう」とあいさつ。被団協の吉岡幸雄事務局長は「アメリカが国際法違反の原爆を投下し、日本政府が原爆症認定で被爆者を切り捨ててきたことは許せない。精力的に署名活動にとりくみたい」と呼びかけました。

開始式の後、参加者は原爆ドームを見渡す元安橋へ移動して署名を呼びかけ、観光客などを中心に1時間ほどで405筆が寄せられました。新署名は県内で20万筆を目標にしています。

【東京】 ピースライブなど青年と共同で宣伝



日本原水協と東京原水協は6日正午、上野公園で6・9行動を行いました。この日は「核兵器なくそう・世界青年のつどい」準備委員会も青年版6・9行動の「ROCK行動」を行い、ボーカリストの形岡七恵さんの歌を中心に、着ぐるみやピースライブペイント（寄せ書き）などで楽しくアピール。1時間で347筆の新署名が寄せられました。

世界大会実行委員会の佐藤光雄運営代表、日本原水協の赤松宏一代表理事らがマイクを握り、原水爆禁止世界大会で提唱された署名を呼びかけました。

行動には国民平和大行進の通し行進者の森悦子さんが職場の北足立生協診療所で新署名255人分を集めて参加しました。

【兵庫】 「核兵器のない世界を」署名に大きな反響

兵庫県原水協は6日正午、神戸市中央区の前元町商店街で、原水爆禁止世界大会が提唱した「アピール/核兵器のない世界を」国際共同行動を訴えて「6・9行動」を行いました。

観光に訪れたという横浜市の青年は、核兵器を積んだ軍艦の寄港を拒否する非核「神戸方式」の説明を聞いて、「横浜港でもできるといいですね」と語りながら署名に応じました。掲示した原爆写真に足を止めた親子は、「こんなひどいことを繰り返さないようにしないと」と語りながら署名と募金に応じました。



新しい署名には、次々と人が立ちどまり、一時間足らずの訴えに134人分の署名が寄せられました。参加者は、「これまでの6・9行動にない強い反応でおどろいた」と感想を述べていました。

【山口】 世界大会参加の青年が同世代の人たちに声かけ 岩国は戦争展と6・9行動で

山口県原水協は6日、正午から山口市米屋町のみずほ銀行前付近で世界大会後初めての「6・9行動」を行いました。恒例のちまきやデパート前が改修に入ったため、いつもの土曜日と違い人通りは少なかったのですが、12人が参加してハンドマイクで「2010年の核不拡散条約再検討会議に提出する新しい署名です」と呼びかけ、1時間の行動で100筆が寄せられました。

昨年に続いて今年も世界大会に参加した20歳の青年が参加し、通りかかった同世代の人たちに声をかけ、署名を集めました。

岩国では、8月29日から31日に市民館展示コーナーで行った「平和のための戦争展」の署名コーナーで、来場者に呼びかけ、75筆の署名が寄せられました。また、9月6日には、6人の参加で「6・9行動」を行い、58筆の署名を集めました。



【沖縄】 お祭り会場で6・9行動&折鶴宣伝



沖縄県原水協は6日、お祭りでにぎわう那覇新都心で、「核兵器のない世界を」署名と折鶴を集める6・9行動を8人で行い、署名55筆、折鶴43羽が集まりました。

折鶴は、今年の原水爆禁止世界大会に初めて参加した高校生が21万羽おりづるプロジェクトを知り「来年の大会にはもっとたくさんの折り鶴をもっていきたい」と一緒に取り組んだものです。

署名と折鶴に応じた50歳代の女性は「子どものころに広島原爆資料館にいき、あまりにつらくて途中で出てしまった。最近テレビでやっている沖縄戦や原爆の特集は欠かさず見ている。核兵器や戦争はなくなってほしい」と語りました。また4人組の高校生は「修学旅行で長崎にいったことがある。くりかえしちやいけなと思う」と真剣に鶴を折っていました。

【北海道】 新署名ポスターと横断幕で宣伝 網走原水協は192ヶ月連続行動

北海道原水協は6日、札幌市で核兵器廃絶を求める6・9行動を行い、署名を呼びかけるカラー横断幕や新署名ポスターを掲げ、道行く市民に訴えました。

道原水協の岩淵尚事務局長は、今年の原水爆禁止世界大会で確認され、2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議に向け、核兵器廃絶のための共通の行動としてスタートした新しい署名「核兵器のない世界を」の内容を紹介。「圧倒的多数の国が反対する核兵器の廃絶は可能です。国際的な世論づくりのため新しい署名に協力を」と呼びかけました。

自転車を止め、署名した女性は、「核兵器や危険な武器は一切なくすべきです。平和を願う心を子どもたちに持ってほしい」と話しました。

網走原水協は6日、七福神祭りで賑わう中で満16年・連続192回目の6・9行動を行い、9人が参加して177筆の署名を集めました。

斜里に単身で住む青年は、自分と札幌の家族の署名をして、カンパも出していたんその場を去りましたが、戻って来て札幌の友人2人の署名もしてくれました。行動参加者からは「携帯で札幌の友人に趣旨を話し、署名の許しを得て戻ってきたと思われれます。こんな青年が増えたら嬉しい」と感想が出されました。

群馬】 1時間で189筆
前橋原水協は6日、前橋駅前「6・9行動」を行いました。14人が参加して新署名「核兵器のない世界を」を呼びかけ、1時間で189筆を集めました。